

〈討議資料〉

山川むねひと 7つの挑戦 「地域力で世界一、新しい金武町へ」

1. 乗り越える

「新型コロナウイルス感染症対策」

- ①医療機関等と連携した検査体制の充実
- ②町民生活や町内事業者への支援
 - ・金武町給付金
 - ・金武町商品券発行の強化と充実（電子商品券・金武町電子ポイント・金武町決済システム等を検討）
- ③各施設の感染対策の推進
- ④感染者の生活補助を支援
 - ・自宅療養者の状況確認の強化
 - ・防災備蓄の見直し（感染者保護も踏まえる等）
 - ・感染者買物難民や孤独化改善を推進

4. やっぱり金武で育てたい 「子育て・教育の充実」

- ①こども医療費助成の高校生までの入院、通院「現物給付、自己負担なし」の推進
- ②保育園・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校の子供の成長を一貫した連携する仕組み、学びの支援システムの構築
- ③学力向上に向けた支援
 - ・無料塾をインターネット教室又は特別教室の設置を検討（atama+システム導入、スタディサプリ導入等を検討）
- ④保育士や児童福祉に関わる人たちが働きやすい環境の推進（雇用促進等）
- ⑤病児保育・夜間保育・ファミリーサポート（子どもの一時あずかりを斡旋する機関）・学童等、地域であずかる仕組みの充実と推進
- ⑥多様性共生と世界を見据えた教育の推進
 - ・英語教育の推進
 - ・個々の個性に寄り添う教育（オルタナティブ教育）の導入を検討（主に幼児教育へ推進）
 - ・1人1人に合わせたインターネットを使った教育の推進
- ⑦高校（通信制も含む）・専門学校等の誘致を検討

2. 世界で一番住みたい

「安全・安心・快適な環境づくり」

- ①高齢者の視点に立った公共交通の推進
 - ・コミュニティバスの運用を推進
 - ・金武町型乗り合いタクシーの検討
 - ・自動運転等も視野に入れた交通網の向上を検討
- ②若者が住みやすい環境を作るための空き地、空き家の有効活用と宅地転用の推進
 - ・空き家、空き地調査の推進
 - ・農振地域の宅地転用の検討及び推進
- ③大規模災害に備えた避難所・公民館等の整備
- ④防災・防犯等の情報管理の充実と強化
 - ・防犯カメラ設置の充実

5. 新しい金武町へ

「世界が注目する活力あるまちづくり」

- ①三世代それぞれが活躍する地域総合型スポーツクラブ（子どもから高齢者の方まで質の高い運動や質の高いスポーツ競技を支援する組織）設立の検討
- ②ギンバル訓練場跡地の新名称の検討、観光と産業と地域を結ぶ連携施策を推進
 - ・金武町観光協会を中心に地域6次化を実践（金武町DMO組織を検討）
- ③一次産業（農林業・畜産業・水産業）振興の強化と新しい取り組み（ICTやIT、地域6次産業化、建物農業等）の推進
- ④企業誘致及び「道の駅」構想の推進
- ⑤オンラインやデジタル等を使った魅力発信
 - ・インターネットを使った動画配信や番組制作の推進
 - ・公共施設のライブ配信機能と撮影機能の充実と強化
- ⑥雇用創出と雇用支援の充実と強化
 - ・ヒルトン・ホテルの早期建設の促進を要請
 - ・金武町就活支援センターへの支援の強化
 - ・金武町商工会との地域起業家への支援
- ⑦スーパーシティ構想への検討と推進
 - ・国家特別特区制度の活用を推進

さらに詳しい政策や生き立ちなど、ホームページを是非ご覧ください。
「いいね金武町」で検索できます。
【いいね金武町 | 山川むねひと公式サイト】



3. 地域力で

「100年時代を生きる福祉」

- ①健康寿命の延伸施策の実践
- ②住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築
 - ・行政区の共同売店の必要意識調査と検討
- ③認知症対策の推進
 - ・認知症初期集中支援チームを検討
 - ・認知症サポーターの養成を支援
- ④インターネットを活用した医療・福祉の推進
- ⑤シルバー人材センター（60歳以上の方への仕事を創出する組織）設立の検討
- ⑥医療・介護等に関わる人たちが働きやすい環境の推進（雇用促進等）

6. 沖縄で一番前向きな役場へ

- ①情報発信の強化
- ②町民の利便性向上に向けたオンライン化の推進
 - ・屋嘉、伊芸、中川の各地区内での各種書類取得の支援
 - ・行政手続きのオンライン化の推進
 - ・手数料支払いのキャッシュレス化
 - ・「デジタル情報課」または「スーパーシティ構想課」（もしくは総務課内の係）を設置
- ③職員提案制度の積極的活用
 - ・職員提案規程の制定を推進
- ④行政機能の強化と利便性向上の推進
 - ・行政窓口の一元化できる新庁舎建設を推進
- ⑤多様性が活きる社会づくり
 - ・「協和共助」をキーワードに地域力を向上

7. 世界で一番話しやすいリーダーへ

- ①誰でも参加できる意見交換会を実践
- ②携帯電話を中心に情報が受け取れる形の情報発信
 - ・SNSやホームページ等での情報受信の提供
- ③まちのPRマンとして活動（行政区ごとも含む）
- ④女性が活躍しやすい社会へ、女性管理職を推進